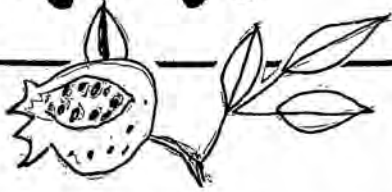


奈良・人と自然の会



ごみ考 ⅢⅠ

川井 秀夫

リサイクルについて、少しタイムスリップして江戸時代の話をしてみよう。
当時のお江戸は、人口100万少しの世界一の大都市であり清潔な町であった。あらゆる物が再使用（リユース）、再利用（リサイクル）されていた。

例えば家庭から出る「灰」は「灰買い」が回収し「灰問屋」に、灰問屋は需要者に売ったり、「灰市」で転売する。用途は様々で、酒造の麴作りの種麴に木灰を利用したり蒸米にふりかけ麴菌だけ増殖させたり、色を透明にする為、酸味の調整に利用したものである。

また、製紙原料に灰汁を加え純度を上げ、分離しやすくする。染色・陶器作りの釉薬とか、食器・衣料の洗濯もしていた様である。この時代、この他にも紙屑拾い、紙屑買い、古着屋、古樽買い、等々。鋳掛けや、瀬戸物の焼け接ぎ屋、下駄の歯入れ屋、研ぎ屋などリサイクル業者が戦前まで往来していたのが懐かしい。

火事は江戸の花とも言われ、ごみと燃えかすの残土は江戸湾（東京湾）の埋め立てに利用されたと言う。（面積は38万坪、甲子園球場32個分）

現代はどうか。

産業廃棄物（3億9300万トン）は比較的均一なものが多く、再生利用がし易く1億8200万トン（46%）がリサイクルされている。

これに対して一般廃棄物（5161万トン）のリサイクル率は15.9%に過ぎない。

一例を挙げるとペットボトル。PET（ポリエチレンテレフタレート）の日本の生産量は130万トン、うちペットボトルの生産量は44万トン（H15年度）、500mlのボトルに換算して年間110本使った事になる。容器リサイクル法が施行されて、リサイクル率が上がったとして、500mlを解禁して生産量を増加させたが、回収量は増加したが、ごみになる量は減ってはいない。

行政は資源化する為に、ボトルを回収すれば費用（税金）のみが増え（資源化貧乏）、リサイクルする事ですべて良しとする誤り（リサイクルの免罪符）を犯している。

前月号で日本は4Rの実現を提唱しているが、この事例（他にもアルミ缶・紙パック古紙・食品廃棄物等）を見るだけでも、余計なものは買わない【Refuse】を生活スタイルの改善に、【Repair】修理・修繕も加えるべきかと筆者は思う。

私の環境問題の仲間にTさんと言う方がおられます。毎朝、淀川河畔をジョギングされていますが、心ない人のタバコの吸い殻を拾い集めておられます。毎日1千本近くが袋に集まり減る様子も無い様です。ここにも市民の意識のなさが垣間みられます。

どこまでいっても「ごみ天国 日本」。未来は悲しいですなァ。

次号では宇宙のごみを取り上げます。

鳥、酉、とり 10月号

今月は少し早いですが、庭に小鳥を呼ぶための工夫についてお話します。

秋は自然の中に実が沢山ありますのでまだまだ手を貸す必要はありませんが、冬が近くなったら「少し」手を貸してみるのもいいのではないのでしょうか。夏には山にいた鳥たちも里に降りて来ますし、冬鳥たちもそろそろやって来ます。ジョウビタキはあまり人を恐れず町中でも同じ庭に毎年（20日頃気をつけて見て下さい）帰って来ていますよ、到着早々縄張りに忙がしくテレビのアンテナ等で「ヒッヒッ、カッカッ」やっています。ファン!!

シジュウカラ、メジロ、コゲラ、が来てくれたらウグイス、ヤマガラ、カワラヒワも・・・

★ エサ・・・ヒマワリの種、小鳥の餌（ホーム・センター等で）、パンくず、ミカン、牛脂、ヒヨドリが来て小鳥を追い払うとよく聞きます。私は以前飼っていた鳥籠を利用してあります。（鳥籠の中にミカンなどを刺しておくヒヨドリは入れません、一箇所だけだと危険を感じた時パニックになりますので出入り口を全部開けておきます）

★ バード・ケーキ・・・パン粉（小麦粉）：砂糖：ラード＝5：1：2、5

①パン粉（小麦粉）と砂糖をよく混ぜる。②ラードは湯煎で少し溶かしておく。

③ ①にラードを少しずつ加え、団子が作れるようになるまでこねる。

（ビニール袋に入れてこねると手が汚れない）

④ 適当な大きさに丸めて出来上がり・・・くれぐれも一度に沢山やりすぎないで下さいね

★ 水・・・水浴びもしますので汚れていないか注意。

★ エサ入れ・・・ ペット・ボトル、牛乳パックで手作りもよい。（図参照）

上記のものは出来れば少し高めに（ネコ対策）雨のかからない軒下がベストです

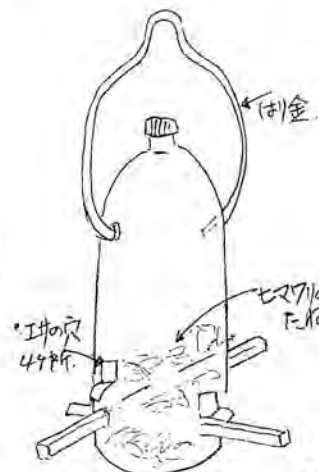
★ 巣箱・・・来春お伝えします

小田 久美子



地域情報

投稿してネ



★ ツメレンゲ（ベンケイソウ科）の花が新薬師寺の外壁の瓦の上に咲いています。 林

★9/9 竜田公園近くで飼育している鳩が50羽位巡回していた時、チョウゲンボウ（ハヤブサ科）がその群れの中に何度も突っ込み群れを散り散りにしていました。

★9/25 三室山の神社でシマツユクサ（淡紫色ほとんど白）が咲いていました。 勝田

春日原始林切割道自然観察会に参加して

八尋 ハル

自然と仲間の中に「立ち入り禁止の照葉樹林帯を観察 ミステリーな出会い」こんな記事を見て参加しました。

南円堂の横で、今日のコース説明の後、早速そばのクロマツの枝に寄生しているマツグミを観察。11月頃になると果実が赤く熟して美味しいとのこと。春日大社周辺にはオオバヤドリギ、ヒノキバヤドリギも常緑樹に寄生しているそうです。次に、猿沢の池に出ました。池の中に大きな丸太が2本レンコンの切り口に似た模様を見せて浮いていました。レンコン腐れ菌の作る技だそうです。本当かな？ 4種の亀がいると聞きましたが、見えたのは、唯一匹でした。

御影堂のある鷲池を通り、飛火野へ向かいました。天然記念物のシカがすっかり食べつくしている芝には糞がやたらと多い。けれど人手をかけずにこのすばらしい風景があるならシカに感謝しなければならぬでしょう。真ん中ほどに、明治天皇が植樹されたクスノキが、金網に囲まれて美しい樹形で生えていました。奥のほうに進んでゆくと、樹幹が空洞になった奇形な姿のクスノキがありました。雷に打たれても打たれても生き続けているとかで、名木ともてはやされてはいても、痛々しい気がしました。次にナギの大木を観察しました。シカが食べないう陰樹なため、高木の下でどんどん成長を続けてゆきナギ林が広がっているのです。鹿園のそばで一休み。シカの頭数と寿命のクイズ。約1200頭 内メスが7～8割。15年、が答えでした。



表参道に出て、春日大社へ進みました。ここでは、樹齢600年とも800年とも言われている、花房が1メートルにもなるフジ棚を見ました。こんなに長い花房が、2000本も垂れ下がった年もあるらしく、さぞかし豪華絢爛だったことでしょう。花の季節に是非訪れたいと思いました。私には初めて耳にするキササゲの果実を見ました。



午後からは、いよいよ春日山原始林をぬけて若草山をめざします。ヤマヒルが多いので用意して頂いた食塩水を足にふりかけてスタート。道の真ん中を一直線縦滞になり、下ばかりを見て歩いてゆきます。時々ワーと声上がる。カマクビをもたげたようにしているヒルを見つけたらいい。「皆さん下ばかり見ていたのでは観察できませんよ」とスタッフの声。多くの巨木大木があったらしいけれど私は見過ごしてしまいました。山の斜面に2つ3つアニメにできそうな真っ赤なかわいい姿のタマゴダケをスタッフに見つけて貰ったときは、皆ニコニコ顔でした。

汗だくでたどりついた若草山は一面緑のススキが風に揺れて一時暑さを忘れさせてくれました。コンクリート作りの市街地の手前に照葉樹に囲まれた興福寺の五重塔には心が和みます。

ミツマタの花を小さくしたようなコガンピやナンキンハゼの幼木を気にしながら一気に山を降りました。せつかくの原始林なのに下ばかり見ていたことが、何としても心残りでした。

奈良公園を誇らしそうに案内していただき、またいろいろな準備をしてくださったスタッフの皆様ありがとうございました。

【行事報告】

9月例会 春日山原始林自然観察研修会 担当 弓場厚次 寺田正博

(一部通行禁止道を県の許可を得て実施)

実施日 9月19(祝) 9時30分より

観察場所 奈良公園、春日山原始林 晴れ時々曇。蒸し暑い。開始時27℃

観察コース

9時30分近鉄奈良駅集合。興福寺南円堂横に移動し、参加者登録、確認。

コース説明、参加心得等を確認して観察会開始する。

猿沢池～興福寺五重の塔～春日大社一の鳥居～鷺池～飛火野～鹿苑～春日大社～春日若宮社～天然記念樹 イチイガシ前 12時。食事。ヤマビル対策(万全?)

12時40分出発、春日山遊歩道～春日山原始林 切割道(普段通行禁止道)～若草山山頂 2時着 ～下山～山麓3時。反省会后3時30分散。

全員事故、怪我、ヤマビル被害も無く楽しい研修会でした。

参加者 39名

市村勝也 林令子 志水明子 小森清道 弓場京子 野田陽子 小山直方 齋藤和子
大林正志(V) 遠藤浩子(V) 山下恭子(V) 高岡淳子(V) 福谷れい子
木村きぬ子 田中暉英 小田進八郎 小田久美子 中畑進 本郷洋一郎 城戸加代子
川井秀夫 柳田弥知子 川岸美子 前木由紀子 吉村さつき 宮澤喜代子 西健吉
山崎節子 勝田均 勝田緑 明石嘉一郎 木村洋子(V) 山田洋子 砂山昭子
豊田正生 八尋ハル 小嶺敏勝 弓場厚次 寺田正博。 順不同

社会貢献事業参加(黒髪山 C/F 自然塾支援活動)

「竹炭を焼こう。ソーメン流しもあるよ!!!」

日程:8月28日(日) AM 10:00~15:30 於 黒髪山 C/F

樋口善雄



入塾者:子供 37名。保護者・一般参加の保護者 17名。

運営:運営協議会講師 6名。スタッフ 6名。人と自然の会 6名。*今回の計画は自然塾の運営会立案の具体案に参加したもので、人と自然の会としては、運営進行上のスタッフとして支援を行った。

【午前の部】

受付終了後、まずはオリエンテーションに依って、危険な行為禁止。危険な区域の出入り注意。蜂・蝮の出没に対する注意喚起。次に受講生を2分し、A班は竹の伐り出しへ。B班は準備してある竹材を食器と箸に加工することにし、各個人の分を作る。40分経過した頃に、A班が帰って来るや、B班が交替で竹伐りに出発する。A班は交替して各自の食器と箸を作る。午前の部では、工具の取り扱いに対する注意と伐った倒竹の下敷きにならぬ様、ロープの引っ張りを指導する。

【昼食の部】(ソーメン流し)

A班・B班が伐り出した竹材を利用して、ソーメン流しの設備を、3人のスタッフで組んでいたが、定刻12時10分になっても完成しない。現地をのぞくと、橋脚の組み方・勾配のとり方・流水の量等、全て未経験による為の遅れとなっていた。一見容易に見えるこの「ソーメン流し」も、若し当会で他のイベントで応用するとしたら、担当会でシミュレーションをしておく必要を痛感したものである。

【午後の部】(竹炭の窯出し・竹割り→窯詰め)

窯出し作業に先立って、炭焼きの原理・工程・及び製品の効能・利用方法等を、別刷りの資料に依り講師から説明があり、その多様さに驚いていた。この後一同は窯前に移動し炭出しを見守る。出炭の品評後、2ケずつを袋詰めし、各人のお土産とする。

竹割りに就いては全体を4班に編成し、各人が平均2本割れる様、予め伐ってある材料を配置する。竹割の治具に就いては、三つ割から～六つ割りまで4種類が取り揃えてあったが、竹の外径・肉厚等を勘案して使用せねばならぬので、炭焼きの経験者に依って、治具別の該当竹を整理しておけば、参加者に対する体験作業も効率良く捗るものと思われた。

今回は少量であった故、年長者に厚肉・大径。年少者に薄肉・小径と対応したので、竹割の手応えに満足した様だった。窯詰めは割った竹を焼き窯の前に搬入し、スタッフがやっている窯詰め作業を見学し、希望者はスタッフの指導で詰め込みをした。

考察：① 本日のハイライトは、窯出しで出された「ガマの穂」であろう！！

スタッフの面々が、窯出しに備えて昨日からの泊り込みの産物であった。

② 「ソーメン流し」と一口に言うが、然れど「ソーメン流し」である。



植物の知識いろいろ

どんぐり (団栗)

寺田正博

ブナ科のカシ・クヌギ・ナラ・シイ・などの実の総称。

堅くて椀のような帽子(殻斗)をかぶっている。特に、クヌギの実をさす場合と、コナラ類の実をさす場合がある。またシイの実を含める場合もある。

《語源》 諸説があり、トチグリ(橡栗)の音便訛、ダングリ(団栗)の意、この実を独楽にして遊んだところからその古名ツムグリの転、朝鮮語のトングルダ(丸い)が関係していることばなどが主である。クリは「栗」のほかに「黠」の字があり、この黠とは黒色。クリは『釈日本紀』にあるように「くり(句離)とは石をいふなり」とありクロ(黒)と通じており、堅い「黒い海の石」とも解釈できる。したがってハマグリは形が栗だが、性質・特性は「黒い海の石」ということになろう。ここから、色についても読み取れ、クリは「黒い色で堅い実」がイメージできよう。

次にドンについては二つの考えができる。その一つは「団」を当てているように「丸いもの」を意味し、丸い固まりが団だ、とする考え方。第二はドングリは「とち栗の義」とあるようにトチクリ(橡栗)からの変化とする見方である。『大言海』はこの説である。基にある音からトチとドンへの分化は不可能ではない。

また一方、朝鮮語のトングルダ(丸い)、蒙古語のトグリク(丸い)、日本語トグロなど関係するという説も重要なるこのドングリの背景には「実」として食料となる地域、アジアの各地にまたがる共通の地域の共通の要素となるトングル・トグルという言葉は意味があるろう。すなはち、朝鮮語に代表されるトングルに名詞化するイがついてトングル+イでトングルイ、すなはちトングリとなり、今日のドングリとなったと考えられる。

以上を総合し、日本語のドングリは、古代からアジア各地の「丸い実」を食料にしている地域に共通する語根トングル・トグルを基礎にして出来上がっており、和語の分析ではトチグリの変化に相当する。と結論してよいであろう。



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場所〉 奈良忍辱山国有林 10月より作業地域が変わります。
 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
- 〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日時〉 10月10日(祝) 9時20分 第37回
 10月25日(火) 10時20分 第38回 午後3時頃
 11月2日(水) 10時20分 第39回 〈終了予定〉
 11月20日(日) 9時20分 第40回

道路事情、バス乗り遅れ等で遅れる場合は、へ連絡

【天候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします

〈交通〉 奈良交通バス 平日 [月ヶ瀬温泉行き] 日、祝 [柳生行き]

JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺

日・祝 8:26 8:29 9:02

平日 9:30 9:33 10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
 長袖着用、タオル。 用具は当会にて多少は用意しております

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

〈連絡先〉 弓場厚次 阿部和生

寺田正博

〈実施報告〉 ・参加者

8月24日(水) 曇 8名(女性 2名、男性 6名)

吉村さつき、福谷れい子、中畑、明石、川井、勝田、弓場、寺田。

現地作業も残り3回になり作業も終わりに近づく。

9月4日(日) 曇 3名 中畑、弓場、寺田。

全区を巡回し、テープ、その他のゴミ掃除をし、間伐残りを片付ける。

10月のイベントのためのテープを巻く。

【10月より】現在の作業地の近くに変更。集合地は同じです。今後ご参加、ご協力お願いします。

第6回近畿自然歩道・まほろばの路

「葛城古道を歩く路」～自然観察と歴史散歩～

《日時・集合場所》 10月22日(土) 近鉄 御所駅 AM 9:30分(9:45分バス乗車)

《交通》 近鉄 阿倍野橋⇒尺土(乗換)⇒御所 所要時間 50分

近鉄 大和西大寺⇒橿原神宮(乗換)⇒尺土(乗換)⇒御所 所要時間 1時間10分

《行程》 御所駅(バス)⇒東佐味～高嶋神社～高天原～名柄 旧屋敷跡～一言主神社～九品寺
 ～御所駅 解散 PM 4:00頃

《準備》 弁当持参 飲み物 観察用具 軽装

《連絡先》 川井 秀夫

有本 倍美

10月度例会「赤目四十八滝」

紅葉と水の芸術に触れる滝トレッキング

日時： 10月27日(木) 9時50分 午前7時警報発表時は中止

集合場所： 近鉄大阪線 赤目口駅

コース： 赤目口駅—<バス利用>—赤目滝バス停～四十八滝めぐり

交通： ☆近鉄電車

上本町 8:35—鶴橋 8:38—大和八木 9:10—赤目口 9:44

☆ 三重交通バス(赤目口駅から) <¥340>

赤目口駅 9:59—赤目滝 10:09

持ち物： 弁当、飲み物、観察用具、雨具、カメラ。靴は足元のしっかりしたもの。

担当・連絡先： 大寺 道代

<11月の予定>

*いずれも詳細は機関紙第46号<11月号>でお知らせします。

11月度例会「当尾の里、紅葉と名刹を訪ねて」

[日程] 11月12日(土)

[担当] 斉藤和子

大石門三

第7回近畿自然歩道・まほろばの路

[コース名] 葛城山麓古代人の祈りが聞こえる路

[日程] 11月15日(火)

[担当] 小田久美子

協力活動「いこま棚田クラブ」10月、11月活動日 ご案内

活動日… 10/2(日), 10/10(月), 10/16(日), 10/24(月), 10/30(日)

11/6(日)刈払機安全講習会も同時実施, 11/14(月), 11/20(日), 11/28(月)

特別活動日 10/1(土)八尾小学校、10/8(土)生駒南小学校他、

10/14(金)シニア自然大学環境科

棚田は、あなたを待っています

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持物：弁当(第三日曜日は炊き出しあり) 作業スタイル

事務局：大寺道代

募集「黒髪山自然塾支援スタッフ」

小学低学年対象：蔓や木の実リース作り

日時：10月23日(日) AM9:30 黒髪山 c/f 集合～16:00

交通：奈良交通バス・近鉄奈良駅前13番のりば(加茂方面行き)。「黒髪奈保町」下車、信号左折、徒歩10分。

持ち物：植木鋏、小刀、弁当。

連絡先：樋口善雄

境 寛

平成17年度9月定例幹事会報告

平成17年9月2日(金) 於 奈良県女性センター

出席者：川井、阿部、大石、大寺、小田、小山、寺田、古川、弓場、樋口(司会) 勝田(書記)

【報告事項】

- (1) 会員動向 会計報告 会員数 96名 現金残 233,552円 収入は昨年に比べ増加、コープ助成金等の為。
- (2) 奈良県環境フェア 8/6 県広域地場産業センターで開催。総入場者1500名。県からの要請で体験型とした。
- (3) 奈良忍辱山森林整備作業 8/24 参加者8名。9/4は最終チェックと清掃。生協用に10~15本を残す。10/10から新しい場所(現行場所より東方へ約300m)で作業開始。
- (4) 黒髪山 C/F 自然塾一竹の炭を焼くー 8/28 参加者50名。竹炭焼き準備と前日分の窯出し。
- (5) いこま棚田クラブ 8月は予定通り4回実施。29日には植生調査が実施された。
- (6) 新入会員(18名)へ当会行事(9/19・24)への参加を呼びかける手紙を発送した。
- (7) 奈良森林管理事務所より「のこぎり」12本、「ヘルメット」10個の貸与を受けた。

【承認事項】

- (1) ならコープ活動助成金運用について 「奈良忍辱山森林整備作業において今後補充すべき物品を先ず購入する。」<承認>

【討議事項】

- (1) 「森林整備作業次期プラン」について
次期場所(忍辱山0.95ha)を平成17年10月1日より平成18年3月末までの6ヶ月間のスケジュールで活動する旨、9月1日付けで申請する。<承認>
- (2) ならコープ環境保全活動「森林整備・森林体験」について
 - ・実施日10月19日(水)定員20名前後。概要はコープ誌「あおがき」10月号へ投稿済み。
 - ・作業内容については今後検討し、10月幹事会で報告。
- (3) 9~11月度定例行事確認
 - 1) 忍辱山森林整備作業 ・11/2(水) ・11/20(日)
 - 2) 例会・ 9/19(祝)「春日山原始林」 担当 寺田
・10/27(木)「赤目四十八滝」 担当 大寺 下見10/13
・11/12(土)「当尾の里」 担当 大石 下見11/1
 - 3) まほろばの路
 - ・9/24(土)「金剛山麓文化を巡る路」担当 有本・川井 下見 9/10
 - ・10/22(土)「葛城古道を歩く路」 担当 川井・有本 下見10/9
 - ・11/15(火)「葛城山麓古代人・・・」担当 小田 下見10/21

編集担当：勝田 均

Tel&Fa

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任を負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫